

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月7日  
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所  
 コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,038	17.4	240	64.2	242	60.8	156	54.1
2025年12月期第1四半期	885	1.6	146	△33.8	150	△32.6	101	△43.6

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 165百万円(117.0%) 2025年12月期第1四半期 76百万円(△63.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	23.84	23.78
2025年12月期第1四半期	15.35	15.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	5,402	3,538	63.5
2025年12月期	5,292	3,368	61.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 3,431百万円 2025年12月期 3,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

当社ビジネスは堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれますが、既存データコントロール事業の拡大と同領域での生成AI新サービス立ち上げ、北米を軸としたIoTビジネス、建機分野における自動運転ソフトウェアビジネス開始等、各種事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想について記載していません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年12月期1Q	6,751,000株	2025年12月期	6,751,000株
2026年12月期1Q	173,537株	2025年12月期	174,637株
2026年12月期1Q	6,577,063株	2025年12月期1Q	6,629,105株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、社会基盤となったデジタル領域が浸透・拡大し、人々の情報収集、コミュニケーション、消費行動や企業の経済活動に大きな変化が生じつつあります。特に、AIは爆発的な進化を続けており、大規模言語モデルにおいて巨大な汎用モデルの開発が進展する一方、新たな技術も日々出現しております。今後、AIが進化し、あらゆるデジタル分野に浸透・連携することで、デジタル社会を支える基盤的要素となる可能性が高まっております。それに伴い、社会全体のイノベーション促進やデジタル化・DX推進を支える基盤としてのデジタルインフラの整備・維持の重要性も高まっております（出典：総務省「令和7年版 情報通信白書」）。

このような環境の中、当社グループは、独自に保有する基盤コア技術や膨大なナレッジをベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、生成AI制御、IoT分野に加え、自動運転ソフトウェアにおける研究開発・ビジネスデザイン及び各種取り組み等を、国内外において着実に進めております。

当社のシステムマネージ・クラウドマネージ・生成AI制御・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当社の現時点での主力事業であるシステムマネジメントは、世界的なインフレや為替・金融資本市場の変動、米国の通商政策による影響、中国経済の減速、中東情勢の影響を受けることなく、当第1四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を押し進め、上場以来過去最高の月額課金売上のプラス成長に着地する潮流が続いております。なお、中長期的な企業価値の向上と持続的な成長を実現するための人的資本経営の強化にも注力し、先行投資は過去最高額となりました。

世界の産業用IoT市場は、2033年には4兆7,183億ドルへ拡大すると予測（出典：Straits Research「産業IoT市場サイズと展望 2025-2033」）されており、当社データコントロールサービスのグローバルにおける需要も高まる中、当社は独自開発のIoTエンジン「NEQT0」やロボット型自動運用プラットフォーム「puzzle」を軸に、あらゆる産業のIoTシステム・デバイスやネットワークサービスを管理・制御する高度なソリューションを提供しております。当第1四半期連結累計期間において、独自エージェントAIを活用したシステム運用完全自律化サービス「JIG-SAW Lorel.ai」を2026年4月より提供開始すると発表いたしました。当社が保有する膨大なビッグデータを基盤とすることで、顧客のシステム運用における超省力化と超高精度化の実現が可能となり、システムの有人監視とAI自動監視の双方を展開していくことで、あらゆる顧客層へのサービス拡大に取り組んでまいります。また、JIG-SAW米国法人（JIG-SAW US, INC.）においては、IoTデバイスから収集したデータをリアルタイムに可視化し、アラート（警告）やインサイト（分析）を提供するノーコード・プラットフォーム「NEQT0.ai」のサービス拡大も推進しております。さらに、各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW Prime」では、取引総額が158,499千円（前年同期比13.8%増）増加しました。今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資額は過去最高を更新し、前年同期と比較して約38,000千円の増加となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,038,827千円（前年同期比17.4%増）、営業利益240,364千円（前年同期比64.2%増）、経常利益242,248千円（前年同期比60.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益156,775千円（前年同期比54.1%増）となりました。なお、新東京本社における本社移転費用影響は完全に収束し、先行投資も継続する中で、設立以降初めて四半期ベースの売上高が1,000,000千円を突破し、営業利益および経常利益も四半期ベースにおける過去最高を更新しました。

当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、3,782,795千円（前連結会計年度末比172,855千円減）となりました。これは主に、現金及び預金が減少（前連結会計年度末比326,440千円減）、売掛金が減少（前連結会計年度末比27,988千円減）した一方で、前払費用が増加（前連結会計年度末比181,733千円増）したことによるものであります。

また、固定資産は、1,620,083千円（前連結会計年度末比283,018千円増）となりました。これは主に、長期前払費用が増加（前連結会計年度末比297,294千円増）した一方で、繰延税金資産が減少（前連結会計年度末比11,347千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、5,402,879千円となり、前連結会計年度末に比べ110,163千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、1,316,375千円（前連結会計年度末比22,962千円減）となりました。これは主に、その他に含まれる前受金が減少（前連結会計年度末比47,701千円減）、未払金が減少（前連結会計年度末比30,585千円減）した一方で、その他に含まれる未払消費税等が増加（前連結会計年度末比33,950千円増）、未払法人税等が増加（前連結会計年度末比31,328千円増）したことによるものであります。

また、固定負債は、548,203千円（前連結会計年度末比37,173千円減）となりました。これは主に、長期借入金が増加（前連結会計年度末比42,499千円増）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、1,864,578千円となり、前連結会計年度末に比べ60,135千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、3,538,300千円（前連結会計年度末比170,299千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比156,775千円増）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社ビジネスは堅調な推移により現時点で過去最高の売上高が見込まれますが、既存データコントロール事業の拡大と同領域での生成AI新サービス立ち上げ、北米を軸としたIoTビジネス、建機分野における自動運転ソフトウェアビジネス開始等、各種事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想について記載しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,380,933	2,054,492
売掛金	1,386,587	1,358,598
前払費用	171,174	352,907
その他	24,821	16,944
貸倒引当金	△7,865	△148
流動資産合計	3,955,651	3,782,795
固定資産		
有形固定資産	412,266	410,042
無形固定資産	43,032	42,014
投資その他の資産		
投資有価証券	218,876	224,517
敷金及び保証金	450,806	445,480
長期前払費用	19,769	317,064
繰延税金資産	146,471	135,124
その他	46,380	46,380
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	881,765	1,168,027
固定資産合計	1,337,064	1,620,083
資産合計	5,292,716	5,402,879
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	831,819	823,543
1年内返済予定の長期借入金	169,996	169,996
未払金	173,312	142,726
未払法人税等	51,260	82,588
その他	112,949	97,519
流動負債合計	1,339,337	1,316,375
固定負債		
長期借入金	530,010	487,511
その他	55,366	60,692
固定負債合計	585,376	548,203
負債合計	1,924,714	1,864,578
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	317,237	323,186
利益剰余金	3,169,859	3,326,635
自己株式	△709,327	△704,859
株主資本合計	3,128,876	3,296,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,593	34,012
為替換算調整勘定	95,534	101,349
その他の包括利益累計額合計	127,127	135,362
新株予約権	111,997	106,868
純資産合計	3,368,001	3,538,300
負債純資産合計	5,292,716	5,402,879

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	885,152	1,038,827
売上原価	245,279	312,686
売上総利益	639,872	726,141
販売費及び一般管理費	493,479	485,776
営業利益	146,393	240,364
営業外収益		
受取利息	628	1,427
受取配当金	1,479	1,269
投資有価証券売却益	3,172	—
持分法による投資利益	903	1,043
その他	396	528
営業外収益合計	6,579	4,268
営業外費用		
支払利息	1,017	2,384
為替差損	484	—
自己株式取得費用	772	—
その他	0	—
営業外費用合計	2,274	2,384
経常利益	150,698	242,248
税金等調整前四半期純利益	150,698	242,248
法人税、住民税及び事業税	6,434	75,187
法人税等調整額	42,519	10,285
法人税等合計	48,954	85,472
四半期純利益	101,743	156,775
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,743	156,775

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	101,743	156,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,161	2,419
為替換算調整勘定	△19,539	5,815
その他の包括利益合計	△25,701	8,235
四半期包括利益	76,041	165,010
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,041	165,010
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	20,167千円	19,615千円